

「はかり」の定期検査を実施します

取り引きや証明に使用する「はかり」は、計量法による定期検査を受け、これに合格したものでなければ使用できません。

今までは、市全域を2年に1度県が検査していましたが、広報4月20日号でお知らせしたとおり、今年度からこの検査を市が実施します。今後は、市の検査区域を東西に分割し、毎年それぞれの地区を交互に行います。

今年度の定期検査は東地区が対象です。日程は次のとおりです。

■定期検査日程表

対象地区	検査日	検査時間	検査会場
松井地区	7月5日(金)	午前10時～午後3時	松井公民館(上安松1286-1)
新所沢・新所沢東地区	7月8日(月)		新所沢公民館(緑町1-8-3)
富岡地区	7月9日(火)		富岡公民館(北岩岡117-1)
並木地区	7月17日(水)		市民武道館(中富1614-2)
柳瀬地区	7月18日(木)		柳瀬公民館(城964-8)
新所沢・新所沢東地区	7月19日(金)		生涯学習センター(泉町1861-1)

上記以外の地区については、平成15年度に実施します。

なお、今回の検査対象となるはかりは、指示はかり・台手動はかり・等比皿手動はかり・不等比皿手動はかり・棒はかり等の「機械式はかり」です。電気式はかり(デジタル表示されるもの)は、別途巡回検査を行いますので、持ち込みないでください。

また、該当地区の日時で都合の悪い方は、日程表内の他会場で検査を受けてください。

今回検査対象となる方には、日程等の詳細について別途郵送でお知らせします。6月30日(日)を過ぎてもお知らせが届かない場合はご連絡ください。

問い合わせ 消費生活センター(☎926-1711)

募集人員	募集します	夏期臨時保育士を募集します
募集期間	7月下旬～8月下旬	
勤務時間	午前8時30分～午後5時(1日7・5時間)	
勤務時間	午前8時30分～午後5時(1日7・5時間)	

○有資格者や保育士資格取得のために勉強中の学生等、期間中継続的に勤務できる方を優先します。

○応募先・問い合わせ

までに市役所1階・保育課(☎998-19126)へ履歴書を持参

のうえ応募

勤務時間	勤務時間	光の園の臨時職員を募集します
午前9時30分～午後3時	午前8時30分～午後5時(1日7・5時間)	

○応募資格

○勤務内容

○勤務時間

<p

エコとこ伝言板

第26回
環境について
学ぼう!
考えよう!
行動しよう!

~6月は環境月間です~

●第10回所沢市環境フォーラムのお知らせ

今年の環境フォーラムは、『ふるさとを感じる街・支える人々』をテーマに、地域で環境活動に貢献されている皆さんの表彰をはじめ、発明学会会長の中野勝征さんをお迎えして、暮らしのアイデアが生まれ出したエコ発明について語っていただきます。

とき 6月29日(土)/午後1時30分~(開場は午後1時)

ところ 市民文化センターミューズ・マーキーホール

内容 ▶地域で活動されている皆さんの表彰式▶講演「次代につなげるエコライフ」/講師…発明学会会長・中野勝征さん

◎先着600人の入場者にエコグッズを差し上げます。

■環境関連展示と緑の基金100円玉募金運動を同日開催

とき 午後0時30分~

ところ ミューズ・情報市場

【内容】

- △雨水貯留槽等の環境関連展示
- △雑木林で見かける“クワガタムシ”展示
- △緑の基金100円玉募金運動…募金をしていただいた方に、ブルーベリー・ブルーサルビア(予定)の苗木を配布します。

●環境月間啓発展示のごあんない**「見直そう今までの暮らし・考え方これから暮らし」**

毎日の暮らしの中で、私たち一人ひとりが環境にやさしい行動をしていくことは、地球を、そして私たち自身を守ることでもあるのです。この機会に、私たちの環境について考えてみませんか。

とき 6月24日(月)~28日(金)(5日間)

ところ 市役所1階・市民ホール

内容 環境保全のための各種補助制度の紹介や省エネ・地球温暖化・ごみの分別・リサイクル等の環境に関する情報を多数展示します。

問い合わせ 環境総務課(☎998-9133)

環境研修センター施設を一般公開します**環境市民大学校・環境NGOと市民の集い
~地域が創るみんなの自然~**

とき 6月22日(土)/午後0時30分~4時30分

ところ 環境省環境研修センター(並木3-3)

内容 ▶公開講座「地域が創るみんなの自然」▶環境をテーマとしたクラシック演奏

問い合わせ 環境研修センター庶務科(☎994-9303)

**水漏れの修繕
7月の休日受付当番**

所沢市水道部 ☎921-1100

水道部では24時間体制で水漏れにあたっています。修繕は、所沢市指定給水装置工事事業者が行い、修繕にかかる費用は依頼主の負担となります。

7月の休日受付当番は次のとおりです。

日(曜日)	当番	電話番号
6日(土)	(有)平塚設備工業	923-5778
7日(日)	(有)伏見設備工業	948-3328
13日(土)	平岩設備工業(株)	925-9690
14日(日)	(株)小松屋管器	922-3836
20日(祝)	(有)北田住設工業	942-0020
21日(日)	(有)所沢興業	995-2024
27日(土)	(有)サンワ管工	998-5844
28日(日)	(株)貴井産業	993-0110

●高齢者の入浴時には
「声を掛け」

事故の発見と応急手当ての実施が早ければ早いほど助かる可能性が高くなりますので、いざという時に備えて、人工呼吸や心臓マッサージなどが修得できる救命講習会に参加しましょう。

**●水遊びの子どもから
「目を離さない」**

問い合わせ 消防本部救急課(☎922-5146)、または最寄りの消防署へ

●水遊び、「声を掛け」

普通救命講習会の内容に加えて、大人に対する心肺蘇生法(人工呼吸・心臓マッサージ)と止血法を学びます。

上級救命講習(8時間)
普通救命講習会の内容に加えて、子ども・乳幼児の応急手当て、骨折したときの手当て、搬送法等を学びます。

いわといふときには
救命講習会に参加しましよう

水の事故にご注意を!

第26回所沢市社会福祉大会を開催します

申し込み・問い合わせ 7月1日(月)~10日(火)(土・日曜日を除く)
午前の時~午後4時に、埼玉県下水道公社荒川右岸支社(☎048-466-2400)へ電話申し込み

内 容
①EIM容器を使用する生ゴミの堆肥化について
②生ごみ処理容器を使用する生ゴミの堆肥化について

①EIMやさしさの会・久野静子さん
②東洋テルミニ株式会社家庭機器課長・渡辺博一さん

定員 1、000人(応募者多数の場合は抽選)
対象 中学生以上でボランティア活動に関心のある方

体験場所 施設、地域ボランティアグループ、保育園、児童館等

夏休みを利用して、ボランティア活動を体験してみませんか。ア活動を体験してみませんか。観戦は内野自由席のため、立ち見になる場合があります。

ピードガン測定(抽選)等を行います。その後、ライオンズ対オリックス戦の観戦します。帰りは現地解散です。

とき 7月5日(金)/午後1時(受付:正午)
ところ 市民文化センターミューズ・中ホール

内 容
①EIM容器を使用する生ゴミの表彰・大会宣言等)②第2部…アトラクション
問い合わせ 所沢市社会福祉協議会(☎926-8202)

内 容
県では、地方分権についての情報提供し、分権型社会への移行について共に考える場として、「彩の国地方分権出前講座」を開設しています。

内 容
埼玉県地方分権室職員の派遣や啓発ビデオの上映
対象 サークルや自治会・町内会等が主催する10人以上の勉強会や講演会

申込み・問い合わせ 方分権室(☎048-830-2791)
電話申し込み
定員 申し込み先着20人
②東洋テルミニ株式会社家庭機器課長・渡辺博一さん

申込み・問い合わせ 往復はがきによる往信用裏面に代表者の住所、氏名、電話番号、大人・中学生以下別々の参加人数を明記し、7月15日(日)必着で埼玉県県民生活課(〒336-8501・住所不要/☎048-830-3192)へ郵送

受付日 日(土)・14日(日)/いずれも午後1時~5時
説明会 参加者全員に対して説明会を実施します。

夏の到来とともに、海やプールなどで、水に接する機会が多くなります。水による事故は、生命に危険を及ぼす結果を招きやすいのためには水の怖さを知るとともに、ちょっとした注意や配慮を心に掛けることが大切です。

とき 7月25日(火)/午後1時30分(午前の時~午後4時に、埼玉県下水道公社荒川右岸支社(☎048-466-2400)へ電話申し込み

内 容
彩の国地方分権出前講座を開設しています

内 容
県では、地方分権についての情報提供し、分権型社会への移行について共に考える場として、「彩の国地方分権出前講座」を開設しています。

内 容
埼玉県地方分権室職員の派遣や上映
対象 サークルや自治会・町内会等が主催する10人以上の勉強会や講演会

申込み・問い合わせ 方分権室(☎048-830-2791)
電話申し込み
定員 申し込み先着20人
②東洋テルミニ株式会社家庭機器課長・渡辺博一さん

申込み・問い合わせ 往復はがきによる往信用裏面に代表者の住所、氏名、電話番号、大人・中学生以下別々の参加人数を明記し、7月15日(日)必着で埼玉県県民生活課(〒336-8501・住所不要/☎048-830-3192)へ郵送

受付日 日(土)・14日(日)/いずれも午後1時~5時
説明会 参加者全員に対して説明会を実施します。

夏の到来とともに、海やプールなどで、水に接する機会が多くなります。水による事故は、生命に危険を及ぼす結果を招きやすいのためには水の怖さを知るとともに、ちょっとした注意や配慮を心に掛けることが大切です。